

飼育員が北極で採集！ 「クリオネ」の展示を開始しました

海遊館（大阪市港区）では、2023年8月3日（木）より館内「北極圏」にて、「クリオネ（和名：ハダカカメガイ）」の展示を開始しました。本種は1年1ヶ月ぶりの展示となります。

クリオネは貝殻を持たない貝の仲間、北極圏やその周辺海域に生息しています。

今回展示するクリオネは、北海道大学の練習船「おしよろ丸」が実施した北極航海調査に、6月28日から8月1日までの約1ヶ月間飼育員が同行し、採集しました。

本調査ではクリオネの他にも、北極圏に生息する魚類や無脊椎動物を採集しています。これらの生物の展示やイベントの実施につきましては、後日お知らせ致します。



北極で採集したクリオネ

海遊館は今回の展示を通し、生き物や自然環境に興味を持っていただく機会を提供したいと考えています。

【 クリオネについて 】

日本では属名の「*Clione*」から、一般に「クリオネ」と呼ばれることが多い。貝殻を持たない貝の仲間であることから、「ハダカカメガイ」の和名を持つ。北極圏やその周辺といった低水温の海域に生息しており、翼のような器官「翼足（よくそく）」を羽ばたかせ、海中を漂いながら生活する。同じ貝の仲間である「ミジンウキマイマイ」を常食とし、頭頂部にある口から6本の触手（バツカルコーン）を出して捕らえる。

展示場所：館内エントランスビル 3F「北極圏」

展示数：約200個体

※生物の状況により、予告なく展示期間や展示数を変更する場合があります。

本件に関する広報連絡先

取材や素材提供をご希望の場合は下記までご連絡ください。

海遊館広報チーム 06-6576-5529